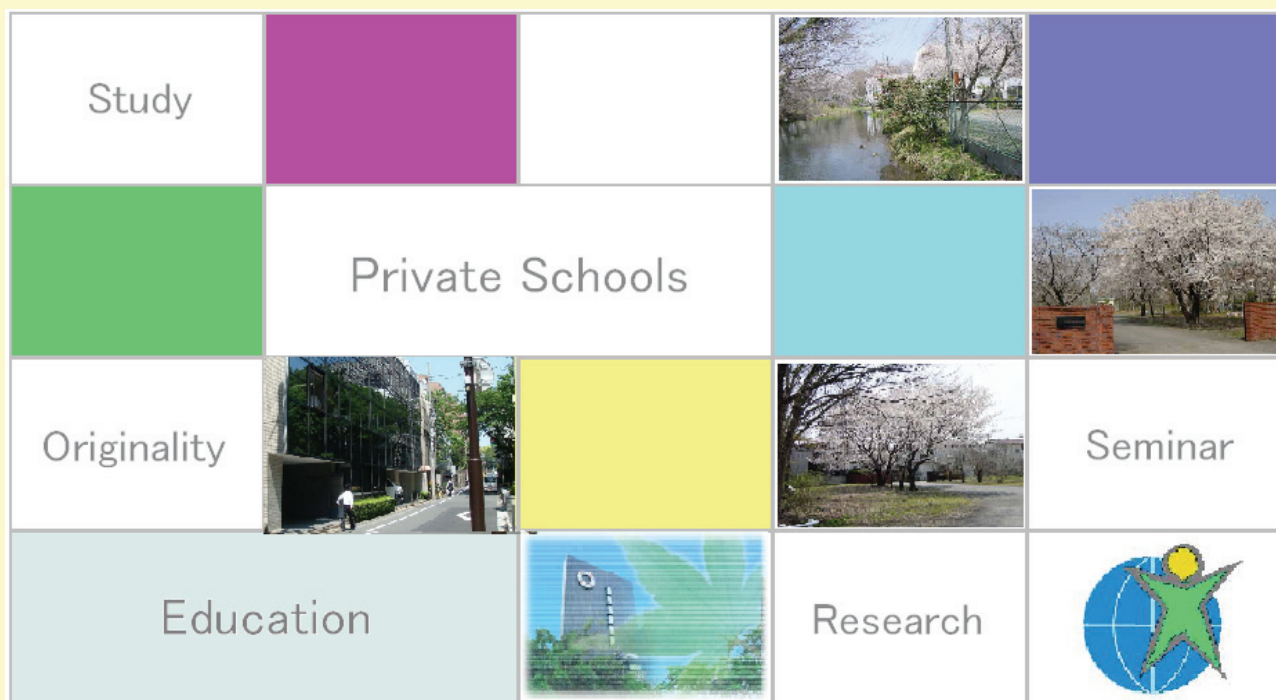


# 日本私学教育研究所 紀要 第52号

The Bulletin of the EIP SJ Vol.52 December/2016



2016-12

一般財団法人 日本私学教育研究所

*The Education Institute for Private Schools in Japan*



# 刊 行 の こ と ば

中 川 武 夫

日本私学教育研究所では専任研究員並びに全国から公募した委託研究員の先生方に 1 年間にわたって研究して頂いた成果をまとめ、毎年各学校にお届けしております。今年度も研究員の皆様のご努力により紀要が出来上がりました。この研究成果を全国の学校で共有し、ご活用頂きたいと願っております。

さて、政府が進める教育改革は、次期学習指導要領、大学入学希望者学力評価テスト（仮称）等々、部分的には未決定の部分があるものの、全体を見れば概ね文部科学省のシナリオ通り進行しています。

問題はこの流れの中で各校がどのように対応して行くかだと思います。残念ながら、何から手をつければ良いか解らない、どうすれば良いか教えて下さいという言葉があちこちで聞かれます。私立学校の多くが、どこを切っても同じ顔が出る「金太郎飴」のような状況に陥ってしまった、他校の様子を見ながら進もうとする消極的姿勢が垣間見える、そんな心配をしているのは私だけでしょうか。

長引く少子化の中で生徒募集に苦しみ、他校の動きにアンテナを張る。他校が人気や話題性のある施策を講じれば、負けてたまるか、遅れてたまるかとばかりに真似をする。気がつけば皆同じようなことをしている。笑えない話だと思います。こうすれば話題性がある、人気が出るといった生徒募集戦略だけで他校を真似る、生徒そっちのけでこれを繰り返せば新たな「金太郎飴」が出来るだけだと思います。アクティブ・ラーニングも ICT 教育もしかりだと思います。

では、このような状況に陥らないためにはどうすれば良いのでしょうか。

他校の真似をせず、自校オリジナルの教育手法をとるべきと主張する人もいます。しかし、教育の手法に純粋なオリジナルはほとんど存在しないと私は思っています。どんなに斬新に見える指導法も、どこかで《どこかの国で》、誰かが、いつの時代かに行っていた手法の焼き直しになることがほとんどだと思うからです。他校の真似をすることが全て悪い、「金太郎飴」現象の元凶だと考えるのではなく、取り入れ方が肝心なのだと思います。生徒たちのことを思い、この方法なら生徒がやる気を出す、目を輝かせる、と思えば、その手法を自校流にアレンジして使うべきだと思うのです。そうすれば「金太郎飴」状態になることはないとは私は信じています。

この紀要に掲載されている研究報告は、委託研究員の先生方が教育現場で様々な試行錯誤を重ねられ、苦しみながら生み出されたものです。常に生徒のために指導法を模索する先生方には、まさに宝物だと思います。大いにご活用くださるよう重ねてお願い申し上げます、発刊の言葉とさせていただきます。

（一般財団法人 日本私学教育研究所 所長）



# 日本私学教育研究所 紀要 第52号

## 目 次

1. 教育改革の方向性と私学  
山 崎 吉 朗（日本私学教育研究所）……………1
2. 私学の建学の精神を活かした道德教育についての研究  
右 谷 浩（立命館慶祥中学・高等学校）……………5
3. 心理教育とサポート・グループ  
横 田 克 哉（札幌創成高等学校）……………9
4. ネットいじめ対策  
台丸谷 和 美（五所川原第一高等学校）……………13
5. 国際交流における児童・生徒の主体性を育むための英語教育のあり方  
小 関 晴 彦（聖ウルスラ学院英智小・中学校）……………17
6. 平成32年度からの高等学校基礎学力テスト及び大学入学希望者学力評価テストに対応する私立高等学校の進学指導の在り方についての研究  
浅 利 幸 彦（米沢中央高等学校）……………21
7. 協同学習を英語で行う英語授業のための「英語表現集」の効果  
金 丸 紋 子（カリタス女子中学・高等学校）……………25
8. 環境マイスターの取り組み・生き方から「水俣」を考える教材の作成  
岩 瀬 幸 子（神奈川学園中学・高等学校）……………29
9. 中学校検定英語教科書の題材にみる「食」に関する異文化理解教育  
長谷川 功（桐蔭学園中学・高等学校）……………33
10. キッチンサイエンスにおけるICT活用事例の研究  
佐 藤 陽 子（広尾学園中学・高等学校）……………37

11. 私立通信制高等学校の現状と意義と課題	
名 和 優 子 (東海大学附属望星高等学校) .....	41
12. 他教科と連携して利用できる理科実験教材の開発とその実践	
竹 田 淳一郎 (早稲田大学高等学院) .....	45
13. 「思考力」の育成についての考察	
日野田 昌 士 (聖学院中学・高等学校) .....	49
14. 数学教育における小中接続を考える	
金 子 孝太郎 (本郷中学・高等学校) .....	53
15. ICT とアクティブラーニングを取り入れた「国語」の授業実践と教材作成	
斎 藤 貢 市 (芝浦工業大学中学・高等学校) .....	57
16. <書き直し>を通じた異文化コミュニケーションの方法	
林 圭 介 (法政大学中学・高等学校) .....	61
17. 私学教育におけるスーパーグローバルハイスクール (SGH) の意義とその課題	
西 永 兼 康 (長野清泉女学院高等学校) .....	65
18. Global 化における ICT・英語を活用した教科指導の可能性について	
君 塚 磨 (日本福祉大学附属高等学校) .....	69
19. テストを活用した意欲的に学ぶ態度の育成	
澤 田 満 (星城中学校) .....	73
20. iPad mini を使用した協働学習の実践	
永 田 義 彦 (椋山女学園大学附属小学校) .....	77
21. 数学的活動を重視した学習指導に関する研究	
黒 田 大 樹 (皇學館中学・高等学校) .....	81
22. ICT を活用した英語授業モデルの実践と検証	
反 田 任 (同志社中学・高等学校) .....	85

23. 生徒が教える機会を設けることによりクラブ内技術伝承の向上を図る 北澤太郎(洛星中学・高等学校) ……………	89
24. いじめ防止対策を通じて生徒と教師のつながり 中間茂治(藍野高等学校) ……………	93
25. グローバル教育における生徒の内発的動機付けに関する研究 森永武人(神戸学院大学附属高等学校) ……………	97
26. キャリア教育を見据えた高大企業連携「化学実験」体験講座の実践的研究 仲島浩紀(帝塚山中学・高等学校) ……………	101
27. より効果的なプロジェクトベース型教育(PBL)を目指して 寺川佐和子(奈良育英中学・高等学校) ……………	105
28. 子どもたちが「生きる力」を意欲的・主体的に学ぶための学習デザイン 村上徹(関西中央高等学校) ……………	109
29. 生徒が主体的に学ぶアクティブラーニング型授業の開発 田中光一(鳥取城北高等学校) ……………	113
30. コミュニケーションの技術としての英語力の育成 曾根喜美男(関西高等学校) ……………	117
31. 中高一貫校におけるグローバル教育に関する研究 渡部哲夫(新田青雲中等教育学校) ……………	121





日本私学教育研究所 紀要 第52号  
The Bulletin of the EIPSJ Vol.52 December/2016

---

平成28年12月26日 印刷

平成28年12月28日 発行

編集兼 一般財団法人 日本私学教育研究所

発行人 所 長 中 川 武 夫

発行所 一般財団法人 日本私学教育研究所

東京都千代田区九段北4-3-8

市ヶ谷UNビル6階

〒102-0073 TEL 03-3222-1621

URL <http://www.shigaku.or.jp/>

印刷所 株式会社カワマタ印刷工芸社

東京都江東区門前仲町1-11-2

---

ISSN 0285-7391

